

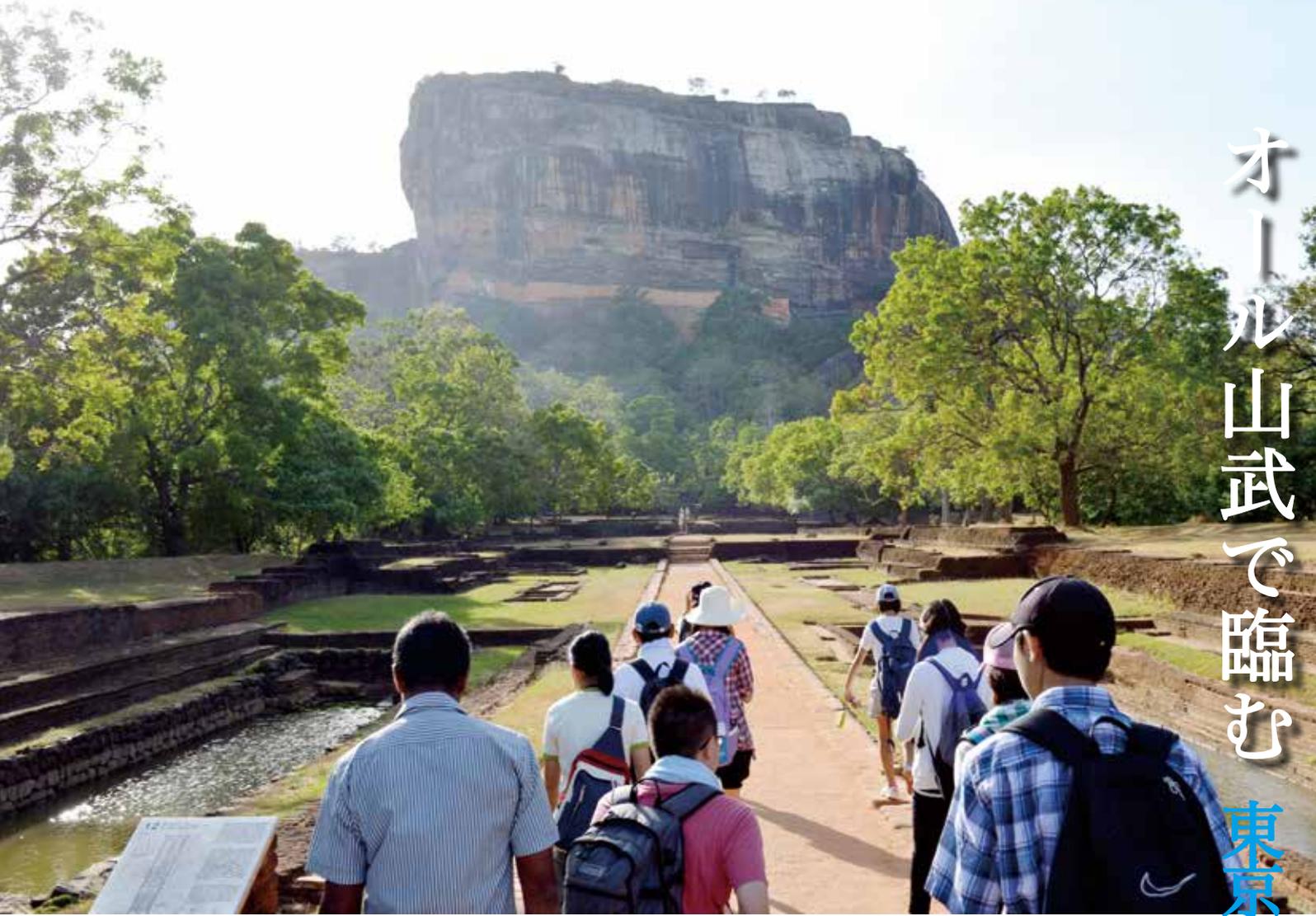


コ  
ロ  
ツ  
ナ  
グ

—青少年スリランカ派遣事業—

# オール山武で臨む

# 東京オリンピック・パラリンピック



世界遺産シーギリヤロックを目指す青少年スリランカ派遣団生徒

なぜ今

オリンピック・パラリンピックなのか

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、山武市は大会の成功をオール山武で応援します。国際化のチャンスと捉え大会の開催効果を市の発展に結びつけていきます。

## 4つの専門部会

大会の成功に向けた推進体制として、東京オリンピック・パラリンピック戦略推進本部に、教育部会、招致部会、障がい者スポーツ部会、まちづくり部会を設置し、さまざまな事業に取り組み、大会の成功を目指します。戦略推進基本計画およびアクションプランを策定しました。

## 日本で2番目に早い事前キャンプ招致

スリランカ選手団は4年後、山武市において事前キャンプを実施し、市民や青少年との交流会に出席することに合意しています。今年度からスリランカ国とは青少年相互交流、スポーツ用具の送付事業等を通して交流し、相互理解を深め信頼関係を構築していきます。

## 東京オリンピック・パラリンピックに臨む体制

山武市東京オリンピック・パラリンピック戦略推進本部

推進本部幹事会

まちづくり部会

障がい者スポーツ部会

招致部会

教育部会



スポーツ大臣との書簡の交換



スリランカオリンピック委員会と事前キャンプ実施の合意書にサイン



招致決定記念講演会でのスリランカ国元オリンピック選手スリヤー二女史



田んぼアート「めでる田んぼ鑑賞祭」



国際大会で活躍する藤井金太郎選手を  
招いてのボッチャ体験交流会



大木夏祭りにて日本文化に触れるスリランカ研修員

# 4つの専門部会が進める主な事業

## 青少年スリランカ 派遣事業（教育部会）

## ボッチャ体験交流会 （障がい者スポーツ部会）

7月23日から30日までの8日間、市内の中学・高校に通う生徒8人がスリランカ国行政機関を訪問し、現地で活躍する日本企業やJICA（国際協力機構）青年海外協力隊の活動現場を視察し、スリランカの中・高生とも交流を重ねました。世界遺産を巡り、異なる文化に触れ、生徒たちはこの体験を通し、国際人として大きく成長した様子でした。

パラリンピックの正式種目であり、障がいがある方、ない方も一緒に楽しめる「ボッチャ」の体験交流会を昨年度に開催しました。市民の方にこの種目を広く知っていただくために、今年度も開催を予定しています。

## 招致国事前交流事業 （招致部会）

## 日本で最初のおもてなし （まちづくり部会）

7月25、26日の日程でJICA筑波国際センターで日本研修に参加しているスリランカ政府の行政官等が山武市の自然、歴史、文化に触れ、市民とのふれあいを通じて、スリランカ国との更なる相互理解を深めるため、山武市大木地区を訪れ、市内でホームステイしました。

田んぼアート、それは「空から眺めるアート」外国人のお客様が飛行機の中から、ふと外を眺めたときに、日本が一番最初のおもてなしを受ける。オリンピッククに向けて外国人のお客様を歓迎する意味を込め、田んぼアートを作製し、山武市の魅力を発信しています。

① JICA隊員の活動現場を視察 ② 日本企業「コロソドッグヤード株式会社（船舶造修業）」を視察 ③ 花の首飾りのお返しは折り紙で ④ 初めて見るココナツの実にびっくり  
⑤ スリランカ国スポーツ省を訪問 ⑥ 折り紙で交流する派遣団生徒 ⑦ 一緒に作った紙飛行機をとばす生徒達

